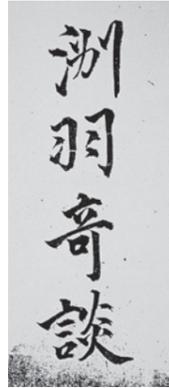
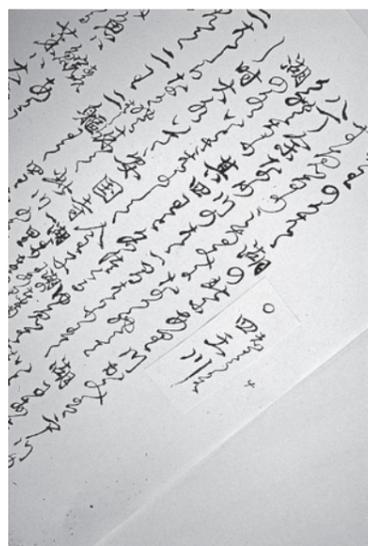


町民大学 一下諏訪を学ぶ②—

演題：「下諏訪の文学 <八> 下諏訪の昔話
 ~今井信古「洲羽奇談」を手がかりに~」
 講師：小口 明 先生（島木赤彦研究会長）
 日時：7月12日（日） 午後1時30分～午後3時00分
 会場：文化センター 集会室 ※当日受付可（受講料100円）



昔からよく知られた宿場町・門前町として人の往来の多い下諏訪には、この地の昔話・伝説（神話・民話）が豊かにあるはずなのに、この町の住民により採話・伝承・公刊されたものは意外に少ない。
 そこで江戸時代末期のこの町の人、今井信古の未公刊「洲羽奇談」を手がかりに、その理由を探り今後の採話の方向を提案したいと考えます。（講師コメント）
 お問い合わせ ☎28-0002（生涯学習係）

← 『大水が出て安国寺から二王佛が二軀流れて来て此の川の処についたのを見て「二王二軀にして四王」という名がついた!』?

いよいよ「海へ、山へ」の季節の到来です。昨年は妻とともに町の企画の八島高原トレッキングに参加しました。車山山頂から蝶々深山・物見岩経由で八島ビジターセンターまで高原や湿原に咲く多くの可憐な花や広々とした緑の景色を堪能しながら歩きました。途中天候の急変で山の厳しさも垣間見ました。

子どもが小学生の頃は、ニッコウキスゲの咲く時期に、「おにぎり」を持って八島湿原から沢渡・車山山頂・白樺湖へと歩き、最後は白樺湖でボートに乗りました。帰りの白樺湖から茅野行きバスでは家族みんなが爆睡。しばらくは、夏の霧ヶ峰高原はわが家の年中行事でした。子どもが部活などで忙しくなり、また下諏訪駅から七島八島へのバスも無くなったことで、この夏の行事も絶えてしまい今では懐かしい思い出です。

当時に比べニッコウキスゲは少なくなりハイキング道路はロープで区切られるようになりました。

しかし、今回久しぶりに霧ヶ峰高原を歩いてみて「私たちは素晴らしい自然の中で暮らしている」と実感しました。これからも、身近にある諏訪の恵まれた自然を家族や友人と楽しみたいと思います。
 （久保田利広）



しもすわ人形劇まつり 2015

日時：7月4日（土） 午後1時30分～午後4時30分
 7月5日（日） 午前10時00分～午後1時00分
 会場：下諏訪総合文化センター 小ホール ほか



入場料：高校生以上 500円（2日間有効）
 中学生以下 無料
 ★チケットは、6月8日（月）から下諏訪総合文化センター窓口で販売しております。
 < 問合せ先 > 下諏訪総合文化センター 28-0018

自然観察会 ~ガイドと歩く夏の八島湿原~



12,000年の悠久の時を刻み、静かに成長を続ける八島湿原、1年に1mmずつ堆積をする泥炭層は8mに達し、湿原の研究で世界的に有名なジェンセン博士が、「これほど見事に発達した湿原は、世界中で、この八島湿原とベルギーに一箇所あるだけ」と絶賛しています。また、日本最南の湿原で、八島湿原を一周すればヤナギランやアザミの仲間など華やかな花に出会うことができます。このよう

な貴重な湿原を、ガイドの説明を聞きながら一周してみませんか。

開催日は、長野県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝するという趣旨で、昨年制定されました「信州山の日」（7月の第4日曜日）です。

日時：7月26日（日） 午前8時～午後2時ごろ
 ※午前7時50分、総合文化センター前集合（貸切バスで移動）

定員：80名
 コース：八島駐車場～八島湿原一周～八島駐車場（予定）
 ※昼食は各自でご用意をお願いします。（食事処を利用することもできます）



内容：自然観察ガイドの説明を聞きながら、八島湿原を一周します。雨水や霧を利用して育つ高層湿原特有の植物を観察して歩くのも楽しみです。

参加費：500円（保険料・資料代）
 申込み：参加費を添えて、7月17日（金）までに直接下記窓口へお越しください。

問合せ：下諏訪町教育委員会／生涯学習係（文化センター内） 27-1111（内線718）
 下諏訪町産業振興課／商工観光係（町庁舎2階） 27-1111（内線272）
 下諏訪観光協会（儀象堂内） 26-2102

※詳しい内容については、班回覧のチラシをご覧ください。